

青森米の魅力为消费者へ

～青森米販売促進PRイベント～

11月30日から12月2日の3日間、名古屋市のららぽーと名古屋みなとアルクスで行われた、「青森米販売促進PRイベント」に、当JA管内の水稻生産者とJA水稲担当職員4人が参加した。PRイベントでは、青森米「青天の霹靂」「つがるロマン」「まっしぐら」の食べ比べや特別価格での対面販売、消費者へのアンケート、青森米クイズ大会を行った。来場者は「日頃から青森米を購入しているので、特別価格での販売はとてもありがたい。青森米についても色々知ることができてよかった」と好評だった。

参加した生産者は「実際の消費者の声を聞き、青天の霹靂の知名度を実感できた。意見を聞くことで、自分の経営方針を見直すきっかけにもなった」と話した。



PRイベントに参加した生産者と職員



対面販売を行う生産者



王林用のパッケージ

新色箱で品種分かりやすく

～輸出用小玉りんご出荷始まる～

当JAではりんごを輸出する際、中間層も購入しやすい価格帯で提供できるよう1箱(15* \square)50~56玉の小玉りんごの輸出を展開している。

12月上旬、各地区の青果センターでは輸出用の小玉りんごの出荷準備が始まった。輸出用小玉りんごのダンボールには、日本のイメージが強く発信できるよう、アニメ風のイラストなどを描いたダンボール箱を取り入れており、贈答用りんごパッケージに採用しているキャラクター「凧ちゃん」のイラストを活用。さらに、日本を想起させるものとして富士山と鳥居、桜、日本国旗の扇子の絵に加え、日本語の「すごい」をローマ字にした「SUGOI」の文字を入れている。

香港、タイ、シンガポールなどに輸出するサンふじと王林が対象。今年からは、輸出先で品種が分かりやすくなるように、王林用に新しく緑色のダンボールを取り入れた。